

令和 3 年度特定非営利活動に係る事業計画書

1 事業実施の方針

令和 2 年度は新型コロナ騒動の影響もあり、助産院開催のイベントが極めて低調でした。令和 3 年度はどうなるか先行きは見通せない状況にあります。国内の出生数はかなり減っているようですが、助産院では今のところお産が激減する事態に陥らなかったのは幸いでした。令和 3 年度はお産、産後ケア事業、物品の販売に加え、健康相談や食事指導（オンラインによるものを含めて）、個別または少人数での体験会、公民館等での味噌作りや発酵食品講座等の開催に力を入れていきたいと考えています。

- (1) 助産所事業では、分娩数・外来者数の増加を目指して、新しい顧客層への広報活動を行っていきます。従来からの Facebook に加え Twitter による情報発信を行います。また引き続き分娩予定者の病院への転院の削減に努めていきます。
- (2) 引き続き、千葉市の委託事業である産後ケア訪問に力を入れていきます。産後ケア入院については、助産院で出産後に入院している人がいる時か、あるいは分娩予定者がいない時期を中心に受け入れを行っていききたいと考えています。
- (3) 健康・食事相談や指導を行っていきます。希望があればオンラインでも実施します。
- (4) 会報は年 6 回、奇数月に発行します。ホームページ、Facebook による情報発信に加え、Twitter の運用も行っています。
- (5) 玄米酵素商品の紹介、販売を引き続き行っていきます。イベントの参加者や来院者が減っているため、紹介販売や準特約店登録をより積極的に勧めていききたいと考えています。
- (6) いいお産の日のイベントを 11 月 3 日前後に開催します。また情報発信、情報交換などを目的として、可能であれば会員、一般を対象とした飲食を伴う小規模な交流会を 2 回程度開催したいと考えています。
- (7) 助産院では、以前からの母子庵、マナビレイキに加え、さまざまな体験学習会を開催し、公共施設等では味噌作りや発酵食品講座の開催を増やしていきます。また状況を見ながら、講座の運営・講師の派遣についてもいろいろな施設に働きかけていきます。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
助産所事業	妊婦健診、分娩、保健指導、教室開催	通年	若草助産院	11 人	妊産婦および乳幼児、女性
産前・産後支援事業	千葉県産後ケア事業	通年	千葉市内、助産院	6 人	産後5か月未満
	支援者向け研修	年 1 回	市内施設等	3 人	支援者、一般 5 人
子育て支援事業	Web 育児相談室	通年	Web	3 人	おもに妊娠出産育児中の方

出産育児、教育、食、健康に関する情報・サービスの提供事業	会報、およびホームページ、SNS等による情報の提供	通年	Web	3人	おもに妊娠出産育児中の方、及び健康に関心のある方
	食事・健康相談	通年	助産院他	2人	一般
出産育児、教育、食、健康に関する書籍、物品、食品等の販売事業	健康、および生活の向上に寄与する物品等の普及を図る	通年	助産院他	5人	おもに妊娠出産育児中の方、及び健康に関心のある方
市民が集い交流する場の提供、および飲食物の提供事業	いいお産の日イベント	年1回	若草助産院	6人	一般20人
	おしゃべりカフェ	年3回	若草助産院	3人	一般18人
	交流会	年2回	助産院他	4人	一般12人
イベント・講座の開催 および講師の派遣事業	学習会の開催	年10回	助産院他	4人	一般30人
	母子庵	年8回	若草助産院	2人	一般24人
	マナビレイキ	年6回	若草助産院	2人	一般18人
	若草ご飯の会	年10回	若草助産院	3人	一般50人
	料理教室	年2回	市内公共施設等	4人	千葉県周辺の市民16人
	味噌作り教室	年4回	市内公共施設	3人	千葉県周辺の市民29人
	発酵食品入門講座	年6回	若草助産院、市内公共施設等	2人	千葉県周辺の市民24人
	手作り体験教室	年4回	若草助産院、市内公共施設等	2人	千葉県周辺の市民16人
	講師の派遣	随時	千葉県周辺	4人	-